2025 年度 授業計画(シラバス)

| 学 科 | 作業療法士学科 | 科目区分 | 専門分野 | 授業の方法 | 演習 |
|---------|-----------|---------|------|-----------|---------------|
| 科目名 | 作業療法総合演習V | 必修/選択の別 | 必修 | 授業時数(単位数) | 60 (4) 時間(単位) |
| 対 象 学 年 | 昼間部3年 | 学期及び曜時限 | 前期 | 教室名 | 各教室 |
| 担当教員 | 樋口 舞 | | • | • | |
| | | | | | Į. |

作業療法士として回復期の身体障碍領域に従事。

実務経験と その関連資格

心身機能・活動・参加・環境に対する各種評価・作業療法を実施。 その後、放課後等デイサービス、小児・成人の訪問リハビリを通し、生活期のリハビリに関わる。

生活行為向上マネジメント(MTDLP)基礎研修修了。

《授業科目における学習内容》

- 先輩や後輩、教員との交流(ゼミ形式)を行いつつ、各ゼミの特性によって展開する。 ①国家試験対策リーダー養成ゼミ〜対象者を診る力につなげる〜 ②作業の探索〜人と作業と環境のつながり〜
- ③障がいの理解につなげる ④臨床(対象・地域)と学内の勉強につなげる のいずれか1つのテーマに沿って各教員が1つのゼミを展開。

《成績評価の方法と基準》

筆記試験、レポート作成、ノートや資料などの提出:100%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

各ゼミのテーマによって異なるため、必要に応じて準備や購入をお願いします。

《授業外における学習方法》

主体的に人と関わりながら学習する姿勢を身につけてください。

《履修に当たっての留意点》

先輩・後輩との関わり、教員との関わりを大切にしている授業です。 主体的に他者と関わりをもって学修して下さい。

| 授業の方法 | 内 容 | | 使用教材 | 授業以外での準備学習の具体的な内容 |
|--------|-------------|--------------------------------------|--------------------|----------------------------------|
| 第 | 授業を通じての到達目標 | を通じての到達目標 各コースの学習目標を説明できる。 | | 復習課題:前年度のコー |
| 1 | 各コマにおける授業予定 | 各コース活動オリエンテーション | 各コースごとに必 要な物を用意 | ス内容の振り返り、把握 |
| 第 2 | 授業を通じての到達目標 | コース活動にて、学習課題設定、スケジュールを立てることができ る。 | 各コースごとに必 | 予習課題:自分のスケ ジュールの計画、把握を 行う。 |
| 回 | 各コマにおける授業予定 | コース活動 | 要な物を用意 | |
| 第 3 | 授業を通じての到達目標 | コース活動の学習課題に沿って、学習を遂行できる① | 各コースごとに必 | 予習課題:学習課題に 沿って、予習を行う。 |
| 0 🗇 | 各コマにおける授業予定 | コース活動 | 要な物を用意 | |
| 第 4 | 授業を通じての到達目標 | コース活動の学習課題に沿って、学習成果を云える① | 各コースごとに必 | 復習課題:学習課題の理 解を深める。 |
| · 回 | 各コマにおける授業予定 | コース活動 | 要な物を用意 | |
| 第 5 | 授業を通じての到達目標 | コース活動の学習成果を見直し、新しい課題を設定することができ る① | 各コースごとに必 | 復習課題:学習成果をま とめる。 |
| 0 | 各コマにおける授業予定 | コース活動 | 要な物を用意 | |

| 授業の方法 | 内 容 | | 使用教材 | 授業以外での準備学習の具体的な内容 |
|-------------|-------------|--------------------------|------------------------------------|---------------------------|
| 第 6 | 授業を通じての到達目標 | コース活動の学習課題に沿って、学習を遂行できる② | 各コースごとに必 | 予習課題: 学習課題に 沿って、予習を行う。 |
| 回 | 各コマにおける授業予定 | コース活動 | †要な物を用意 | |
| 第 | 授業を通じての到達目標 | コース活動の学習課題に沿って、学習成果を云える② | A | 復習課題:学習課題の理 解を深める。 |
| 7 回 | 各コマにおける授業予定 | コース活動 | 各コースごとに必 要な物を用意 | |
| 第 | 授業を通じての到達目標 | コース活動の学習成果の見直しができる② | ⁄ ⁄ ⁄ ⁄ / / / / / / / / / / | 復習課題:学習成果をま とめる。 |
| 8 | 各コマにおける授業予定 | コース活動 | 各コースごとに必要な物を用意 | |
| 第 9 | 授業を通じての到達目標 | コース活動の学習課題に沿って、学習を遂行できる③ | | 復習課題:学習成果をま とめる。 |
| 回 | 各コマにおける授業予定 | コース活動 | 要な物を用意 | |
| 第 1 | 授業を通じての到達目標 | コース活動の学習課題に沿って、学習成果を云える③ | ター・フーレール | 復習課題:学習成果をま とめる。 |
| - O 回 | 各コマにおける授業予定 | コース活動 | 各コースごとに必 要な物を用意 | |
| 第 1 | 授業を通じての到達目標 | コース活動の学習成果の見直しができる③ | 各コースごとに必 | 復習課題:学習成果をま とめる。 |
| 1 0 | 各コマにおける授業予定 | コース活動 | 要な物を用意 | |
| 第 1 | 授業を通じての到達目標 | コース活動の学習課題に沿って、学習を遂行できる④ | 各コースごとに必 | 復習課題:学習成果をま とめる。 |
| 2 回 | 各コマにおける授業予定 | コース活動 | 要な物を用意 | |
| 71 | 授業を通じての到達目標 | コース活動の学習課題に沿って、学習成果を云える④ | ター フデレーツ | 復習課題:学習成果をま とめる。 |
| 1 3 0 | 各コマにおける授業予定 | コース活動 | 各コースごとに必 要な物を用意 | |
| 第 1 4 | 授業を通じての到達目標 | コース活動の学習成果の見直しができる④ | 各コースごとに必 要な物を用意 | 復習課題:学習成果をま とめる。 |
| 日 回 | 各コマにおける授業予定 | コース活動 | 女'み1別で用忌 | |
| 777 | 授業を通じての到達目標 | まとめ活動 | A 11- 21 | 復習課題:学習成果をま とめる。 |
| 1 5 回 | 各コマにおける授業予定 | コース活動 | 各コースごとに必 要な物を用意 | |